

1 級 実技（面接）試験実施概要

実技（面接）試験は、以下の実施方法により行われます。

1. 実施方法：ロールプレイ …… 30分

口頭試問 …… 10分

2. 受検者は、民間の相談機関等において、キャリアコンサルティングの実践を行いながら、キャリアコンサルタントに対して事例指導の役割を担っていると仮定してロールプレイを行います。

事例指導とは、相談者へのよりよい支援と、事例相談者のキャリアコンサルタントとしての成長を目的に、事例相談者の担当する事例を通して指導を行うものです。具体的には、相談者に対する面談過程、事例の見立てや対応の方針、組織への働きかけ、リファラーやコンサルテーション、事例相談者に不足する態度、役割意識、知識やスキル等について、気づきを促し情報提供や助言を行うことです。

3. 事例は、裏面に示す3ケースのうち1ケースが出題されます。

4. 事例相談者（キャリアコンサルタントの役割）は試験係員が行います。

5. 最初に受検者（事例指導者）から自己紹介（ご自身の専門領域や理論的な立場などについて1分程度で説明）し、事例相談者に対し事例内容についての説明を求めてください。その後の事例指導の進め方は自由ですが、事例相談者との間に教育指導関係を築き、事例を通して事例相談者の問題を把握し、事例相談者への育成的な目標を設定するなど、具体的な指導を行うよう心がけてください。

6. 受検室にボールペンとメモ用紙を1枚準備します。受検中は自由に使用可能です。なお、ボールペン、メモ用紙は一切持ち出しできません。

7. ロールプレイ後、口頭試問を行います。

口頭試問の例：

① 今回のロールプレイを振り返って、ご自分の良かった点、改善したい点は何ですか。

② この事例相談者の事例の進め方の問題は何でしょうか。

③ 事例相談者の問題を事例相談者と共有するためにどのような働きかけをしましたか。

8. 合格基準は100点満点で60点以上の得点です。評価区分は基本的態度、関係構築力、問題把握力、具体的展開力の4区分です。なお、評価区分ごとに満点の60%以上の得点（所要点）が必要です。

9. 厳正な採点を行うため、面接試験内容を録音します。受検者は受検に際し、資料等の持ち込み、録音は一切できません。なお、録音をしていた場合は失格となります。

厚生労働大臣指定試験機関

特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会

〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目6番8号泉芝公園ビル5階 TEL03-5402-4688

【1級 第6回 実技（面接）試験 ロールプレイケース内容】

ロールプレイは、事例相談者と受検者（事例指導者）のみで行います。相談者に関することはロールプレイの中で、事例相談者に説明を求めてください。

ケース1

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Aさん、男性（47歳）

相談者が相談したこと：品質管理部門に従事しているが、ここ数年、仕事の領域が広がらなくなり、物足りなさを感じていた。そんな矢先、上司から技術指導という立場で海外赴任の打診があった。1ヶ月以内に返答をしなければならないが、家庭の事情もあり受けた方がいいのか、断った方がいいのか悩んで相談にきた。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：Aさんの家庭状況とAさんが望んでいるやりがいとは何かを丁寧に傾聴し、両立できるように関わったが、よい助言が見つからなかった。後日、Aさんから海外赴任を断ったと連絡があった。相談者が納得できるような支援方法について指導を受けたい。

ケース2

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Bさん、女性（25歳）

相談者が相談したこと：入社して3年目になるが、どうしても仕事に興味を持てず、毎日がつまらない。このままずっとこの仕事をやっていくかと思うと、暗たんたる気持ちになる。将来のキャリアも考えられず、今後どうしたらいいか不安になり相談に来た。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：仕事になぜ興味が湧かないのか、問題は何かということについて、クライアントと一緒に探っていった。また、本人が問題と思っている事以外の、本人が気づいていない問題の把握にも努め、解決に向けての適切なアドバイスもできたつもりだが、今後の具体的な活動について話すことにしていた次の面談日に現れなかった。何が不足していたのか、指導を受けたい。

ケース3

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Cさん、男性（19歳）公立工業高等専門学校4年生（機械工学科）

相談時期 7月

相談者が相談したこと：来年度の卒業後は、四年制大学に編入し、将来的には大学院博士課程への進学を考えている。しかし、この先学生生活が続くと家計に負担をかけることになるし、家業の工場のことにも気になるので相談に来た。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：本人の悩みを傾聴しながら、課題を明確化するよう努めたが、相談者と目標が共有できていないような感じがして、今後どのように面談を進めていけばよいか迷いがある。今までのアプローチとこれからの面談のあり方について指導を受けたい。

以上